

委員会調査(研修)報告書

NO.

令和 2年 6月 8日

胎内市議会議長

薄 田 智 様

(報告者) まちづくり常任委員会

委員長 渡辺 秀 敏

まちづくり常任委員会閉会中所管事務調査 について、
議会会議規則第110条により、下記のとおり報告します。

調査・研修 日 時	令和2年6月4日(木)	調査・研修 場 所	中条町商工会 黒川商工会
調 査 ・ 研 修 事 項	新型コロナウイルス感染症による商工業者の状況と支援策について		
調 査 ・ 研 修 出席者(参加者)	まちづくり常任委員会 渡辺秀敏委員長、渡辺栄六副委員長、渡辺宏行委員、桐生清太郎委員、 森田幸衛委員、天木義人委員、森本将司委員、坂上隆夫委員 薄田智 議長、小野徳重 副議長		
相手方(対応者)	中条町商工会 大久保勝由会長、南波精咲副会長、井上喜美男副会長、池田辰彦商業部 会長、西奈美公平工業部会長、佐藤佳照サービス部会長、町田一衛事務 局長、 黒川商工会 小谷淳会長、高橋保副会長、緒形徳栄副会長、斎藤正幸工業部会長、野 澤栄商業部会長、高橋文男事務局長		

調査の結果または概要

・商工会と議会の意見交換会

新型コロナウイルス感染症による商工業者の状況と支援策について、中条町商工会及び黒川商工会の会長、副会長、商業部・工業部・サービス部の各部会長及び事務局長に参加いただき、意見交換を行った。

まず初めに、各部会長ら商工業者の現状について報告がなされ、続いて参加者全員で必要とされる支援策や地域経済の活性化のための施策について意見交換を行った。また、商工会からは、議会・行政に対し、以下のような要望が寄せられた。

- ・プレミアム商品券をもっと多く発行してもらいたい。また、プレミアム率を低くしてもいいので多くの人にいきわたるようにしてもらいたい。
- ・地元券の割合を増やしてもらいたい。
- ・プレミアム商品券に関する事務経費を補助してもらいたい。
- ・一日一組でもいいので安全面を考慮したうえで、市職員に宴会・会食など飲食店を利用してもらいたい。
- ・現在の支援策をもっと拡充してはどうか。
- ・ホテル、旅館などの利用料金の割引をしてはどうか。

一方、委員からは以下のような質問、提案がなされた。

- ・特別定額給付金を市内商店救済のために幅広く使ってもらう方法はないか。
- ・国・県の支援策の利用状況はどうか。また、情報の提供はどのようになされているのか。

調査の所見・感想

新型コロナウイルス感染症の影響による経営状況の悪化が切実であること、また、それぞれの部会（業種）によって大きな格差があることが改めて実感できた。特にサービス部会に属する業種の業績悪化が顕著であり、飲食店においては前年比で70～80%、宿泊業においては80%の売り上げが減少しており、商業部会においても20～30%の売り上げが減少していることが分かった。一方、工業部会は、現時点において影響はまだ少なく、海外からの部品の調達の遅れなどから、これからじわりじわりと広がって行くことが想定できるとのことであった。

このままこのような状況が長く続くと倒産や解雇などで失業者が増加することが懸念される。最終的にはその家族も含め、生活に困窮する市民が増えることになり、市の経済の悪化にも繋がっていくことになる。このような事態を最小限に抑えるために、国・県の支援とともに市においても既に独自の支援策を実施しており、第二弾の支援策も予定しているが、この窮状を救うため、早急に更なる支援策が必要であると感じた。